

第566回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和5年5月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	7 番 菅原 和幸 (一問一答)	1. 将来の遊佐町農業を展望した「地域計画」の策定を	<p>平成24年に行われた農地関連施策の見直しでは、農業の担い手や農地の維持のあり方を明確にする「人・農地プラン」を町が作成、審査・検討の結果を公表することになっており、令和元年度からは、プランの「実質化」も求められている。</p> <p>今年4月1日施行の「農業経営基盤強化促進法」の改正で町は、「人・農地プラン」に代わる「地域計画」を、2年後の令和7年3月末までに策定しなければならない、農地一筆ごとに10年後の農地利用状況や見通しを整理したうえで、「目標地図」の作成も求められる。</p> <p>県は、「話し合いの進め方マニュアル」を作成し市町村に示しているが、4月26日開催の遊佐町農業振興協議会では、産業強化推進部会の事業に含めた議案が決議されている。</p> <p>同マニュアルでは、タブレットでの意向調査や農業委員会サポートシステムの活用を促している。「地域計画」の策定は、具体的にどのように進めるのか。</p> <p>「地域計画」策定にあたっては、担い手の高齢化などを踏まえ、農業分野でのICT活用も視野に検討をすべきと認識するが、所見を伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
2	<p style="text-align: center;">6 番 松永 裕美</p> <p style="text-align: center;">(一問一答)</p>	<p>1. 中学校におけるエシカル消費推進取り組み授業の提案</p> <p>2. 50 代以上の町民対象帯状疱疹ワクチン補助制度導入の提案</p>	<p>教育現場でエシカル消費の推進授業の取組みに、より力を入れることは将来の持続可能な社会の実現に繋がる重要なポイントではないだろうか？政府は2030年迄に持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、エシカル消費を含む消費者啓発や関連する取組みを進めることを目指している。遊佐町も主体的な取組みの一つとして、中学校教育にフォーカスした際、通常実施されている座学式授業に加え、課外授業や課題研究発表・討論形式授業もプラスすることで、自ら考え知恵を出し合い協力し合い行動できるリーダー的人材を育成していく中学校教育もとても大切なことだと考える。ご所見を伺う。</p> <p>帯状疱疹は水疱ウイルスが再活性化し発生する疾患であり、50 歳を過ぎると発症しやすく痛みや神経障害等の強い副作用がでる重度の後遺症を残すこともある。また高齢者の場合、帯状疱疹による合併症が長引く慢性的な症状が残ることもあり、このような後遺症や合併症にかかるリスクを減らすためにもワクチン接種を推進する必要があると考える。もちろんワクチン接種は、町民皆様の任意ではあるが「受ける」「受けない」の選択肢がある町であってほしいと思う。このような制度を導入することによって、町全体の健康水準が向上し、医療費の削減や地域住民の医療負担の軽減にもつながり健康で活力ある町を目指すために提案させていただくものである。</p>
3	<p style="text-align: center;">2 番 那須 正幸</p> <p style="text-align: center;">(一問一答)</p>	<p>1. 高齢者、「通いの場」への通い方への支援は</p>	<p>全国的に高齢者とは 65 歳以上の方を言うそうですが、我が町では令和 10 年を迎えると人口の 50% 近くが 65 歳以上となります。町で取り組み、地域の皆さんが自主的に行われている「いきいき百歳体操」も平成 26 年度開始から 9 年目に入り、参加する皆さんからも「こういう場があり良かった」との声も、うかがっています。また西遊佐地区では「まちセンカフェ」などにも取り組んでおり、各地区「通いの場」が活発に行われるようになってきました。しかしその一方で参加者の高齢化も進み、だんだんと思うように「通いの場」まで来ることができない人（高齢で免許返納したり、歩くことが困難な人）が出てきています。今後さらに、通いたいけど通えない人が増えてくる傾向にあります。町として「通いの場への通い方」をどう考えているのかを伺います。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
4	<p style="text-align: center;">1 番 本間 知広 (一問一答)</p>	<p>1. 「若者を中心としたビジネス創出事業」の可能性</p>	<p>町では少子化の影響もあり、特に若者が不足している現状である。結果、事業者の廃業が相次ぐようになった。そんな中、令和5年度に「若者を中心としたビジネス創出事業」が新たに予算化された。額は13,200千円。</p> <p>現在町では「IJU ターン」や遊佐高での「自然体験型留学生」の受け入れなど、遊佐町以外から若い人を呼び込むことに取り組んでいる。町の良さを知ってもらうことなどにより、定住してもらうことが主な目的だ。「地域おこし協力隊」も同様であると認識している。</p> <p>定住するには仕事をしなければならないが、なかなか仕事が見つからないのが大きな課題である。この事業はそうした課題を解消していく可能性があると感じている。</p> <p>かなり長いスパンでの取り組みになることが予想されるが、今後の展開にどのような可能性を持っているのか伺う。</p>
5	<p style="text-align: center;">5 番 齋藤 武 (一問一答)</p>	<p>1. 役場職員の確保に不安はないか</p> <p>2. 就農者の確保に全力を尽くせ</p>	<p>行政運営では実務的に頭脳となり手足となる職員が、一定数必要である。</p> <p>令和5年春の町役場職員人事異動では、退職が9名に対して新規採用が3名、再任用が4名であった。また、町民課長と会計管理者は兼務とされた。</p> <p>このことから、人員の不足がうかがえるが、なぜこのような事態になったのか。一時的な現象にとどまるのか、あるいは中長期的な傾向なのか。</p> <p>現状分析とその対策を確認したい。</p> <p>農業人材の高齢化が叫ばれて久しいが、現場感覚として、ここにきていよいよ限界に達してきたと感じることが多くなった。人材の育成には時間がかかり、先手先手で対策を打つ必要がある。</p> <p>この町の景観を面的に形作るのは水田だが、人材的な保全も行わなければ、「逆さ鳥海」を見続けることはできなくなる。</p> <p>町として対策を講じていることは承知しているが、より一層の創意工夫が必要であり、残された時間は多くない。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の類型変更もあり、改めて都市部との交流も盛んになってきた。この機会に都市部からの新規就農者の呼び込みにも力を入れるべきだ。</p> <p>ここ数年を強化期間として、徹底的に対策を講ずるべきと考えるが。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	4 番 佐藤 光保 (一問一答)	1. 遊佐町環境基本計画について	本計画、ゼロカーボンに向けた現況調査事業、新エネルギー基本計画と目白押しだが、結局、洋上風力発電はどうなっていくのか伺う。
		2. 学校給食の無償化について	国の少子化対策にもあるとおり必要な施策と考えるので所感を問う。
7	3 番 佐藤 俊太郎 (一問一答)	1. 防犯カメラの設置運用状況は	防犯カメラは、犯罪抑止に有効な手段だと思われる。ホームページ上で設置場所等明示されていない。明示することにより防犯効果を高めると思料する。現在の設置場所、設置数とその設置基準、更に今後増設する予定の有無をお伺い致します。
		2. 規範意識や道徳意識の低下を抑止するための施策は	強盗事案やニセ電話詐欺等の犯罪報道が後を絶たない。東京銀座で発生した強盗の犯人とされる者は16歳を含む未成年者と報じられた。これらの事案の発生は規範意識の低下と思われる。これら現状を踏まえ規範意識の低下を抑止する施策について、当町ではどのような授業等に取り組んでいるかお伺い致します。